

横浜開港資料館クラウドファンディング 山下公園通りの歴史とともに歩む ホテルニューグランド・横浜マリンタワーの リターン商品を追加しました

横浜開港資料館（所在：横浜市中区、館長：西川武臣、管理運営：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団）は5月21日から実施中のクラウドファンディングについて、株式会社ホテル、ニューグランド（所在：横浜市中区、代表取締役社長 原 信造）、横浜マリンタワー（管理運営：リスト株式会社 代表取締役社長 北見 尚之）の協力を得て、ホテル宿泊券や歴史散歩ツアーのチケットをリターン商品（返礼品）として取り扱うこととなりましたのでお知らせいたします。

ホテルニューグランドからは「グランドクラブフロア1泊朝食付ペア宿泊券」

1927年(昭和2年)に開業したホテルニューグランド。本館は、1927年開業時に銀座和光などを設計した渡辺仁による設計で、クラシックホテルの代表例です。マッカーサー元帥やチャーリー・チャップリン、ベーブ・ルースをはじめ、数多くの著名人が利用したことで知られています。1992年には横浜市認定歴史的建造物となり、横浜・山下公園前のランドマークとして親しまれ続けています。

本商品は、歴史あるホテルニューグランドのグランドクラブフロアの1泊朝食付ペア宿泊券です。



名 称：歴史と伝統のホテルに宿泊して応援
ホテルニューグランドグランドクラ
ブフロア1泊朝食付ペア宿泊券
内 容：ペア宿泊券 1枚
価 格：200,000円
有効期限：発行から6か月内
除外日：満室・特別営業日
(GW・花火・お盆・ク
リスマス。年末年始
など)



↑お申込みQRコード

横浜マリンタワーからは「山下町の歴史的な建築と展望台の景色を楽しむツアーチケット」

クラウドファンディングスタートを記念して5月19日に「たまくすの木」カラーのグリーンにライトアップしていただいた横浜マリンタワーは、29階と30階にある展望台は横浜の街並みを360度見渡せるオススメスポットです。本リターン商品は、横浜開港資料館を出版し、横浜の歴史的な街並みを当館副館長の案内で巡り、横浜マリンタワー展望台から街の歴史を楽しむ限定ツアーの参加チケットです。

【ツアー実施日：2024年12月13日(金)】



名 称：青木副館長がご案内 横浜マリンタ
ワ
ーから楽しむ横浜の街の歴史さんぽ
(横浜マリンタワーグッズ付)
内 容：ツアー参加チケット1枚
価 格：18,000円
数 量：8枚



←お申込みQRコード

次ページあります

横浜マリントワー「ライトアップ権」もリターン商品として販売中



お申込み QR コード→

横浜マリントワーからは、誕生日のサプライズや大切なひとの記念日、応援や推しのお祝いに、願いを届ける光のサプライズに最適なタワーの「ライトアップ権」もリターン商品として販売中です。

皆様の願いを込めて大切なひとへの思いを届けてくれる横浜マリントワー様ご提供のリターンでクラウドファンディングを支援してみませんか。



名称：横浜マリントワーをライトアップ、お好きな色で横浜港を照らそう！
内容：「ライトアップ権」
価格：100,000 円

横浜開港資料館 クラウドファンディング 実施概要



本年は安政元年（1854）にペリーが横浜に上陸し、日米和親条約が締結されてから 170 年の記念の年です。

ペリー上陸を見守り、慶応 2 年（1866）の火災と関東大震災という二度の大きな災害から復活した当館中庭にある「たまくすの木（横浜市地域史跡）」周辺について、バリアフリーデッキを整備します。

段差解消や狭い通路の改善を図り、誰もが憩える空間にするため、地域循環型のクラウドファンディングを実施中です。

本クラウドファンディングは、横浜市民の方でも返礼品を受け取ることが可能です。

名称：横浜開港の歴史を未来につなげる「たまくすの木」に憩うバリアフリーデッキを作りたい！
期間：令和 6 年（2024）5 月 21 日（火）～7 月 19 日（金）
目標：500 万円（ALL or Nothing）※目標に達しない場合、事業は実施しません。
プラットフォーム：READYFOR ※実施期間・名称等は変更の可能性があります。
主なリターン：開港資料館オリジナルグッズほか、近隣事業者が提供する商品やサービス



クラウドサイトへ

文化庁認定「横浜開港資料館における文化観光拠点計画」について

横浜開港資料館では、「横浜開港資料館における文化観光拠点計画」に基づく事業を展開しています。この計画は、文化の振興を、観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的として、令和 2 年に施行されたいわゆる「文化観光推進法」※に基づき、文化観光拠点施設を中心に、文化についての理解を深める機会の拡大と国内外からの観光客の来訪を促進させ、文化・観光の振興、地域の活性化の好循環を全国各地で創出するため、文化庁が認定している計画です。

横浜開港資料館は「横浜開港」の歴史を中心に文化振興を観光と地域活性化に結び付ける拠点となることを、共同申請者である山下公園通り・元町・横浜中華街の各団体とともに目指しています。

※「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」

※文化観光推進法に基づき認定した拠点計画及び地域計画

文化庁ウェブサイト：https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/bunkakanko/92441401.html



お問合せ先

横浜開港資料館 副館長：青木祐介 拠点計画推進担当：羽毛田智幸 広報：久保暢子・加藤七海

Tel.045-201-2100